令和7年6月

News Release

静岡県商工会連合会

県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和7年5月期　小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和７年５月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調 査 概 要

（１）調 査 時 点　令和７年５月 31 日
（２）調 査 対 象　県下 35 商工会（うち 35 商工会より回答）【回収率 100％】
（３）調査対象業種　製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
（４）調 査 方 法　商工会の経営指導員に対するアンケート方式
（５）集 計 方 法　質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概 要（トピックス）

【物価高騰や人手不足、米国関税措置、受注減少等の複合的な経営環境の悪化により、資金繰り等への影響が拡大しており、全体として先行きに対する懸念が強まっている】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-32.2（前月-28.8、前年同月-17.4）で、前月比 3.4pt 悪化した。物価高騰や人手不足、関税措置、受注減少等の複合的な要因により、製造業・建設業を中心に資金繰りや生産・営業体制等に影響が生じている。またサービス業では事業継続に課題を抱える事業所が増加し、全体としては先行きに対する懸念が強まっている。

【製造業】

業況は-33.3（前月-30.5、前年同月-17.6）と前月に比べ 2.8pt 悪化した。物価高騰による原材料・輸送コストの上昇や米国関税措置の不透明感の継続、受注減少等の影響が広がっており、資金繰りや生産体制への課題が顕在化している。

【建設業】

業況は-28.6（前月-28.6、前年同月-23.6）と前月比変動なしであった。継続する人手不足に加え、資材価格の高騰や金利上昇等の影響から受注活動に支障が生じており、一部では受注の選別や価格交渉の動きが見られる。

【小売業】

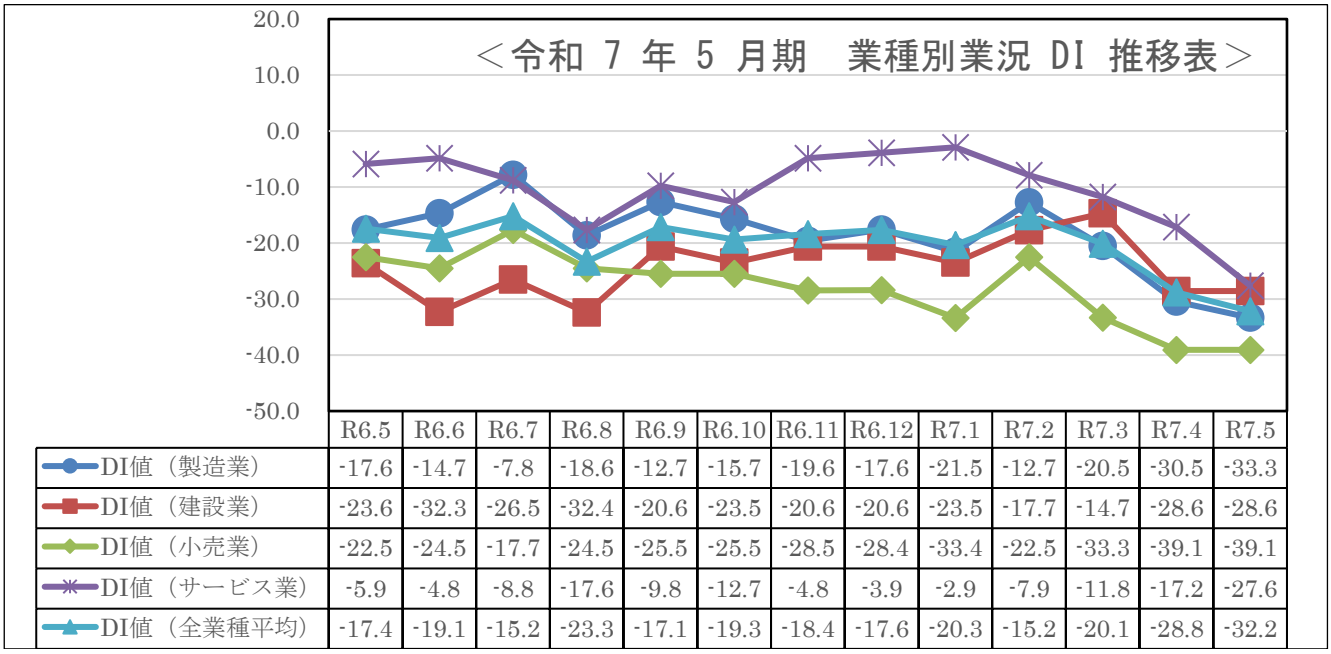
業況は-39.1（前月-39.1、前年同月-22.5）と前月比変動なしであった。観光需要や気温上昇により一部好調な動きも見られるが、物価高や消費低迷等により厳しい業況が続いている。

【サービス業】

業況は-27.6（前月-17.2、前年同月-5.9）と前月に比べ 10.4pt 悪化した。業種全体で需要の低迷や顧客構造の変化等の影響により、事業継続に課題を抱える事業所が増加している。

3 本調査に関する問合せ

静岡県商工会連合会 産業振興課℡054-255-9811〔担当：増田・片平〕



	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	R7.4	R7.5
DI値（製造業）	-17.6	-14.7	-7.8	-18.6	-12.7	-15.7	-19.6	-17.6	-21.5	-12.7	-20.5	-30.5	-33.3
DI値（建設業）	-23.6	-32.3	-26.5	-32.4	-20.6	-23.5	-20.6	-20.6	-23.5	-17.7	-14.7	-28.6	-28.6
DI値（小売業）	-22.5	-24.5	-17.7	-24.5	-25.5	-25.5	-28.5	-28.4	-33.4	-22.5	-33.3	-39.1	-39.1
DI値（サービス業）	-5.9	-4.8	-8.8	-17.6	-9.8	-12.7	-4.8	-3.9	-2.9	-7.9	-11.8	-17.2	-27.6
DI値（全業種平均）	-17.4	-19.1	-15.2	-23.3	-17.1	-19.3	-18.4	-17.6	-20.3	-15.2	-20.1	-28.8	-32.2

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

・物価高騰の影響を受け、原材料費に加え輸送コスト等も増加しており、資金繰りが厳しくなっている。（伊豆）
・米国関税措置の不透明感が継続する中、特定の大手自動車メーカーを主要取引先とする事業所の中には、製造ラインの稼働率が大幅に低下している事例が見受けられる。（富士駿東）
・大手自動車部品メーカーにおいて加工業務の内製化が進められており、その影響により外注先の事業所では受注減少が生じている。（中部）
・繊維工業では特殊な技術を有するものの、経通し等の細かな作業を要する職人の高齢化が進んでおり、受注を制限せざるを得ない状況となっている。（中東遠）
・食料品製造業では仕入価格の上昇（特に米の価格高騰）の影響が大きく、直接的な価格転嫁を回避するため、内容量や品目数を調整する等、間接的な値上げを予定している。（西遠）

【建設業】

・住宅ローン等の金利上昇により顧客の判断が慎重となり、受注に結び付いていない。（伊豆）
・物価上昇分は受注価格に反映されているものの、人手不足により受注への対応が難しく、選別的に受注を行っている状況が見られる。（富士駿東）
・前月と比較して変動はなく、人手不足が継続している事業所が多い。（中部）
・受注があるものの、資材高騰や人手不足の影響により進捗に遅れが生じている。（中東遠）
・仕入価格が上昇する中、元請企業に対し価格見直しの交渉を行う事業所が見られる。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

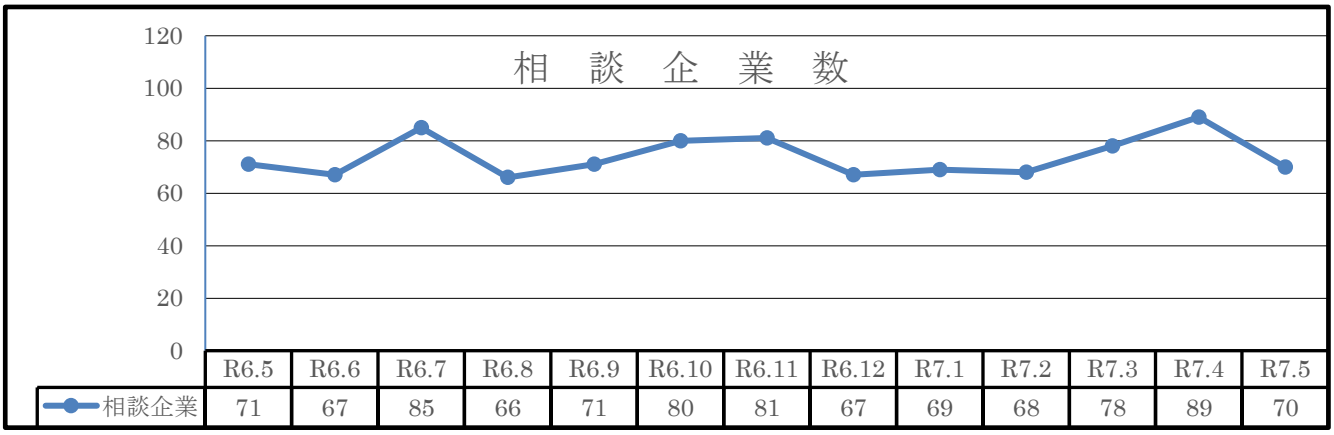
・食料品では伊豆を周遊する日帰り観光客の増加に加え、気温の上昇も影響し、ソフトクリーム等の冷菓類の販売が好調に推移している。（伊豆）
・食料品では物価高騰や最低賃金引上げによる資金繰りが課題となっており、特に米の販売を主とする事業所では、在庫不足もあり利益の確保が困難な状況となっている。（富士駿東）
・衣料品では人口減少の影響により消費の伸び悩みが続いており、需要は低調である。（中部）
・仕入価格の上昇が継続する中、消費者の低価格志向が強まっており、大手スーパーやドラッグストアへの集客が進む一方で、小規模小売店では厳しい状況が続いている。（中東遠）
・エアコンの需要はあったが他品目は減少傾向が続き、全体としては横ばいである。（西遠）

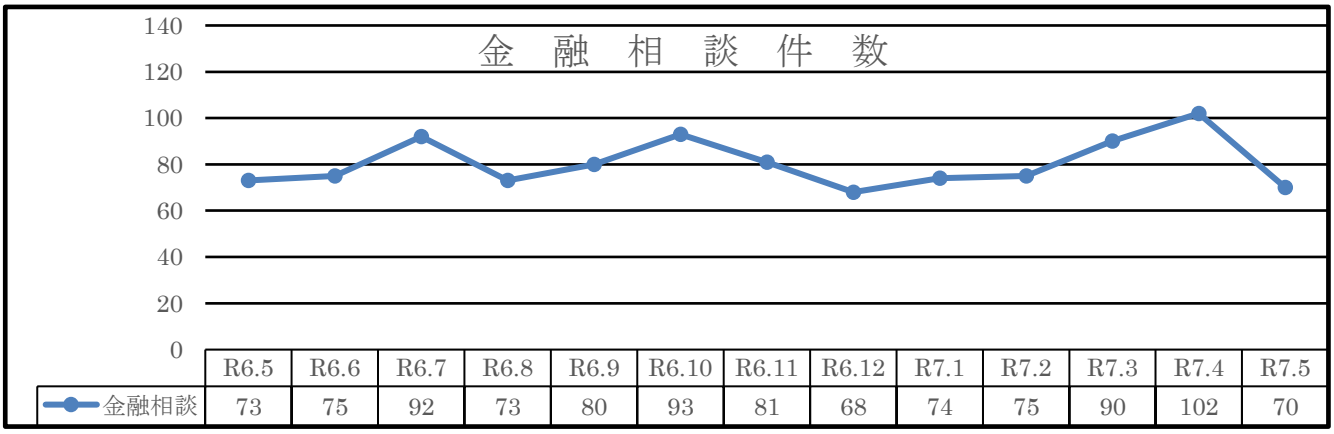
【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

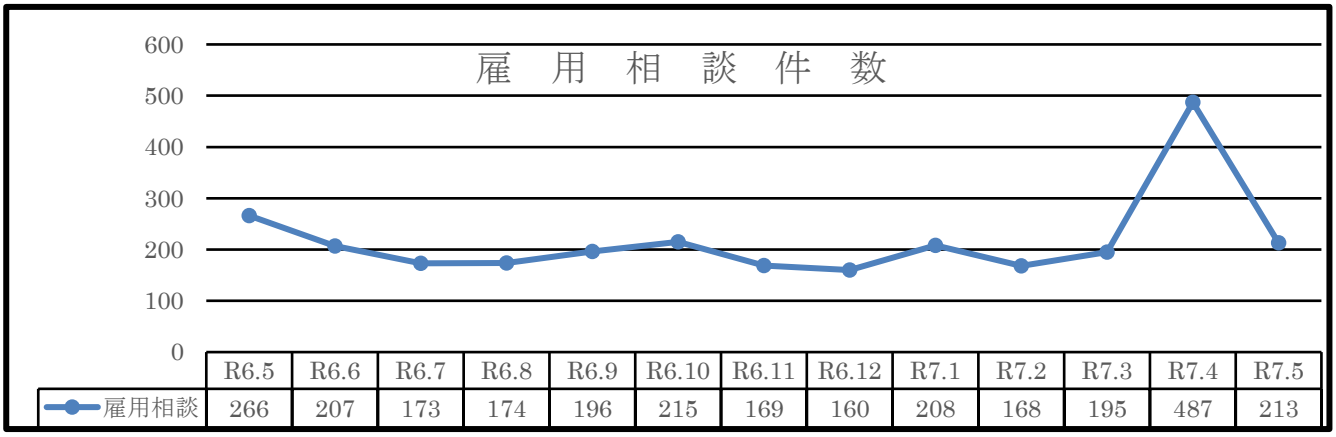
・旅館業では宿泊需要が低調に推移し、来月以降も予約状況は厳しい見通しである。（伊豆）
・理美容業では顧客層の高齢化が進み、固定客の減少傾向が続いている。（富士駿東）
・旅館業では観光資源への依存を抑えた経営が求められるなか、小規模ゲストハウスでは外国人観光客を中心とする需要が見受けられる。（中部）
・理美容業では客数は維持されるものの、経費を抑える方法の模索が続いている。（中東遠）
・洗濯業では洗剤やハンガー、包装用ビニール等の資材価格高騰が顕著であるほか、事業主の高齢化や物価上昇の影響もあり、同業他社の廃業が相次いでいる。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告（令和7年5月期）

内容別内訳 （※１件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント）	今月	前月	前月比
【相談企業数】	70	89	-19
【金融相談件数】	70	102	-32
新規融資（借換えを除く）	46	76	-30
既存債務の借換え	21	23	-2
借入れ条件変更	0	1	-1
消費者金融・商工ローン関連	1	0	1
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	2	2	0
【雇用相談件数】	213	487	-274







【金融相談】

金融相談件数は 70 件と前月(102 件)に比べ 32 件減少した。資金繰りの悪化を背景に、返済条件の見直しや金利改定による借り換え等に関する相談が増加傾向にある。

＜経営指導員コメント＞

・資金繰りの悪化が懸念される中、借入の更なる増加を避けたい事業所が多い。(伊豆)
・資金繰りが厳しく、近く返済開始を控えた事業所においては返済計画の見通しが立たず、複数の金融機関によるバンクミーティングが実施されたケースもあった。(富士駿東)
・建設、製造業からの相談が増加傾向にあり、設備資金に関する相談が中心である。(中部)
・昨今の物価高騰による影響に伴い経費負担が増加する中、運転資金に関する借入相談が増加傾向にある。(中東遠)
・金利改定を受け、マル経融資の借り換えに関する相談が増加している。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、213 件と前月(487 件)に比べ 274 件減少した。人手不足が深刻な課題となる中、外国人雇用の動きや助成金の活用、労働保険関係の相談が増加している。

＜経営指導員コメント＞

・アンケート調査では多くの事業所が人手不足を深刻な経営課題として挙げており、打開策が見出せない状況が続いている。このような中、製造業や宿泊業、介護分野では外国人雇用が進んでいる事例が見受けられる。(伊豆)
・建設業を中心に依然として人手不足の声が多く、業務量の増加に伴う重機等の機械類はリースにより緊急対応が図られているものの、操作可能な人材（オペレーター）の確保が課題となっている。(富士駿東)
・労災保険の特別加入に関する相談が多くあった。(中部)
・業務改善助成金や従業員の退職金共済制度、労働保険年度更新手続き等に関する相談が多くあった。(中東遠)
・多くの事業所で人手不足の影響が大きく、ハローワークや自社ホームページ等に求人を掲載しても応募が限られる状況が続いている。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

・5/11（日）に「ユーラスエナジー河津カップ 2025 天城アタック 35」が 178 名のエントリーで開催された。当日はアウトドアメーカーやショップ、飲食店ブース、キッチンカー、ふれあい動物園等の多数の出展もあり、参加者以外にも地域住民の来場で賑わった。参加者は前日受付となり、遠方から訪れ宿泊された方もあった他、町内で使用できる商品券が配られたことで宿泊業を中心に一定の経済効果があったと見込まれる。(河津町)
・4/1（火）から「みなみいず応援プレミアム付商品券」の利用が開始された。５月末時点で約 75%の換金実績となっている（南伊豆町)
・5/3（土）に金時公園にて「第 61 回富士山金太郎春まつり」が開催された。(小山町)
・5/23（金）に「ツアー・オブ・ジャパン 2025 富士山ステージ」が開催された。(小山町)
・5/24（土）にコワーキングスペース「BIRDS Coworking×FUKUROI」が新たに開設され、市が運営し、商工会は協議会メンバーとなっている。(浅羽町)
・5/31（土）に「第 35 回遠州はまきた飛竜まつり」が開催されたが、天候による影響が大きくあった。(浜北)
・5/10（土）に、はままつフラワーパークにて、浜名湖花博 2024 開催記念に常葉大学経営学部浜松キャンパス地域貢献サークル Cocoa×奥浜名湖商工会×うおかね商店で企画開発した「春爛漫コロッケ（うなぎいもコロッケ)」、「三ケ日牛コロッケ」、「三ケ日メンチ」を販売すると共に、奥浜名湖グルメマップの配布と奥浜名湖の魅力に関するアンケート調査を実施した。(奥浜名湖)